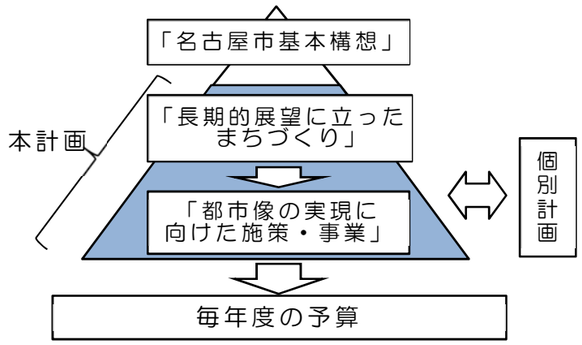
名古屋市次期総合計画　原案について

計画の全体像

○計画の位置づけ

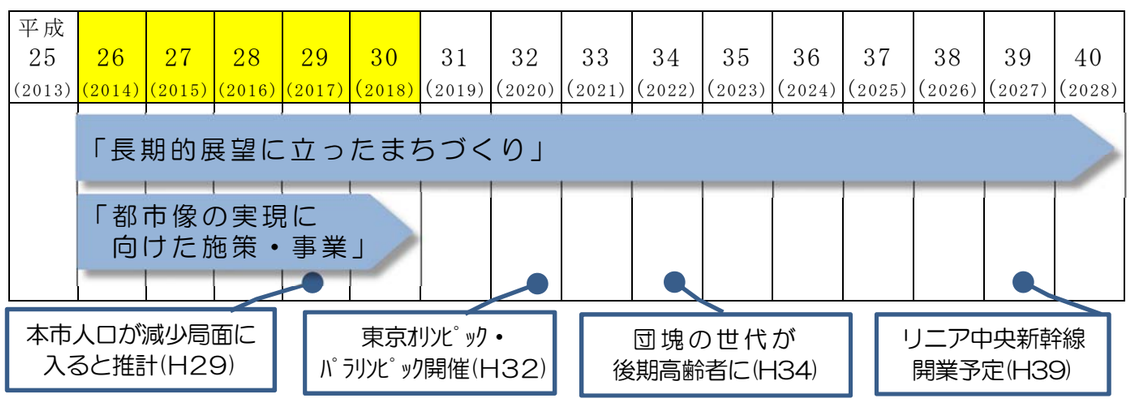
・**「世界のナゴヤ、本物ナゴヤ、ぬくとい市民」**の実現をめざして、「名古屋市基本構想」のもとに、まちづくりの方針・めざす都市の姿・重点戦略などを「長期的な展望に立ったまちづくり」に示し、そのもとに「都市像の実現に向けた施策・事業」を総合的・体系的に示します。



「長期的展望に立ったまちづくり」
本市を取り巻く**潮流、重点課題**を分析した上で、**まちづくりの方針・めざす都市の姿・重点戦略**を描きます

「都市像の実現に向けた施策・事業」
平成 26（2014）年度から 30（2018）年度に取り組む施策と関連する事業を掲載します。

○計画期間



計画原案の構成

名古屋を取り巻く状況

○名古屋の概況
○人口と世帯数の見通し
○本市を取り巻く潮流
（１）少子化・高齢化
（２）災害に対する不安の高まり
（３）リニア中央新幹線の開業
（４）価値観・ライフスタイルの多様化
（５）グローバル化の進展
（６）環境問題の多様化
（７）公共施設の老朽化
（８）行政課題の広域化・多様化

重点課題
（1）人口減少社会における人口構造の変化への対応
（2）南海トラフ巨大地震への対応
（3）リニア中央新幹線の開業等への対応

長期的展望に立ったまちづくり

まちづくりの方針

名古屋の強み
- 鉄道・高速道路・空港・港の広域的な交流ネットワークの中心
- 世界レベルの産業技術の集積による強い経済力
- 空間的・時間的なゆとりのある便利で快適な住みやすいまち
- 市民と行政が一丸となって課題に対応する力

名古屋だからこそできる未来につながる持続可能なまちづくり

歴史に残る街・ナゴヤ
☆将来を支える世代が健やかに育まれる
☆災害にも立ち向かえる力を備える
☆さらに発展を続けていく力がある

めざす都市の姿
（１）めざす４つの都市像
都市像１　人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち
都市像２　災害に強く安全に暮らせるまち
都市像３　快適な都市環境と自然が調和するまち
都市像４　魅力と活力にあふれるまち
（２）将来の都市構造

重点戦略
戦略１　子育て世代に選ばれるまちをつくるとともに、地域の活力を高めます
戦略２　市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます
戦略３　国際的な都市間競争を勝ち抜く、大きく強い名古屋をつくります

市政運営の取り組み
（１）市民主体の市政運営
（２）将来を見据えた市政運営

名古屋大都市圏の成長と新たな大都市制度のあり方
（１）圏域全体の成長に向けたビジョン
（２）新たな大都市制度の実現に向けた取り組み

都市像の実現に向けた施策・事業

めざす 4 つの都市像

人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち

取り巻く状況

- ●出生数の減少などによる人口減少
- ●高齢者人口の大幅な増加
- ●価値観・ライフスタイルの多様化
- ●人と人とのつながりの希薄化

めざすまちの姿

- 人権と絆が大切にされるまち
- 子どもや若者、高齢者、障害者など誰もが不安なく自立して過ごせるまち
- 一人ひとりがいきいきと自分らしく生活できるまち

- 人権・生きがい
- 福祉・自立支援
- 高齢者の活躍
- 生涯学習・スポーツ振興
- 子どもの育ちや学び
- 子育て支援
- 若者の自立支援
- 就労支援

快適な都市環境と自然が調和するまち

取り巻く状況

- ●大都市としてふさわしい環境づくりが必要
- ●環境の持続可能性への懸念
- ●都市化の進展による環境への影響
- ●都市化による緑の減少傾向

めざすまちの姿

- 快適な都市環境の中で気持ちよく暮らせるまち
- 自然が身近に感じられるうるおいのあるまち
- 都市と自然が調和する心がやすらぐまち

- 都市基盤の充実
- 緑地の保全・創出
- 都市機能の適切な配置・連携
- 暮らしやすい居住環境の確保
- 生物多様性の保全
- 低炭素・循環型社会

災害に強く安全に暮らせるまち

取り巻く状況

- ●南海トラフ巨大地震への不安
- ●豪雨災害への不安
- ●火災・犯罪・交通事故などへの不安
- ●安全な市民生活への要望

めざすまちの姿

- 地震や豪雨など災害に強いまち
- 犯罪や事故が起こりにくいまち
- 地域が一体になって安全確保に取り組むまち

- 過去の教訓を生かした備え
- 防災・減災
- 復旧・復興
- 消防力の向上
- 自助・共助・公助による地域防災力向上
- 火災予防・犯罪・交通事故防止
- 水・食の安全

魅力と活力にあふれるまち

取り巻く状況

- ●リニア中央新幹線の開業
- ●企業の海外進出や多国籍化
- ●国境を越えた都市間競争
- ●空間的・時間的にゆとりがあり住みやすい

めざすまちの姿

- 魅力と活力にあふれ、住みたくなるまち
- 魅力と活力にあふれ、行きたくなるまち
- 市民が誇りに思えるまち

- 都市魅力向上
- 若者の支援
- 商業振興
- 都市魅力の発信
- 国際交流
- 産業振興

重点戦略

「まちづくりの方針」に基づいて、重点的に取り組むべき戦略を示します。また、戦略を推進していくため、「都市像の実現に向けた施策・事業」に掲載した事業の中から、５年間の計画期間に特に優先的に取り組むものを示します。

戦略１　子育て世代に選ばれるまちをつくるとともに、地域の活力を高めます

■安心して子育てできる環境づくり

・妊娠期から出産・育児、子ども・若者の自立まで、切れ目のないきめ細やかな支援
・子ども一人ひとりの個性を大切にし、児童・生徒が安心していきいきと学校で過ごすことができる環境整備

保育所入所待機児童対策
なごや子ども応援委員会の設置

■助け合いながら暮らせる地域づくり

・地域での体制づくりをすすめ、行政だけでなく、地域住民、NPO、大学等が連携・協力
・多くの元気な高齢者が豊富な経験を活かせるような活躍の場を創出し、社会の支え手として活躍できるよう支援

ナゴヤ版 地域包括ケアシステムの実現
大学等との連携・協力
大学間交流の促進

戦略２　市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます

■自ら備え自ら守る自助力の向上

・大規模災害に対する意識啓発、適切な避難行動の指針を示すとともに、防災教育を充実させ、防災対策の促進や適切な避難行動の普及

市民および事業所の自助力向上の促進
地震避難行動指針の策定
学校における防災教育
民間建築物の耐震化

■みんなで助け合う地域コミュニティの醸成

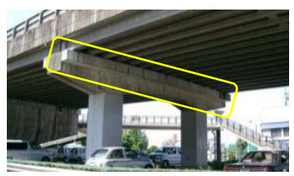
・地域の特性に応じた避難行動支援や、災害時に援護が必要な人の安否確認・避難誘導などをおこなう助け合いの仕組みづくりの推進
・避難所の開設・運営の推進

助け合いの仕組みづくりの推進
避難所開設・運営訓練の充実
地震避難行動指針の策定
帰宅困難者対策の推進

■都市防災機能強化により圏域の復旧・復興もリード

・大規模災害に備え、被害を未然に防ぎ、また被害の最小化を図るため、他の施策の指針となる計画の策定
・都市基盤の耐震化の推進

国土強靭化地域計画の策定
耐震対策（緊急輸送道路の橋りょう、地下鉄構造物、河川堤防）
名古屋港の防災機能強化
災害時の情報伝達の充実



橋梁の耐震補強の例

戦略３　国際的な都市間競争を勝ち抜く、大きく強い名古屋をつくります

■リニア中央新幹線を見据えた都心部の魅力づくり

・ターミナル機能の強化や象徴的な都市空間の形成をはかり、国際的・広域的な拠点の形成

リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅周辺のまちづくりの推進

・都心のシンボル空間の形成をめざして、久屋大通公園などの公共空間の再生、民間再開発の促進、界隈性の充実による魅力にあふれたまちづくりの推進

栄地区まちづくりプロジェクトの推進

■「また来たい」ナゴヤの創出と圏域の活性化

・名古屋らしい魅力の創出と魅力を国内外に発信
・観光案内などの強化

名古屋城の整備、東山動植物園の再生
金城ふ頭の開発、観光案内の強化
観光プロモーション・MICE の推進
Wi-Fi の整備、なごやめしブランドの推進

■ものづくり経済圏の中枢都市ナゴヤの実現

・日本の真ん中という地の利や、ものづくり産業の集積を活かし、次世代産業の育成や産業交流拠点の形成の推進

航空宇宙産業設備投資への支援
医療・福祉産業への参入促進
大規模産業展示会の開催

取り組む施策・事業の概要

●施策・事業の概要

本計画では、めざす４つの都市像と市政運営の取り組みの内容をもとに、平成 26 年度から平成 30 年度の５年間で取り組む 44 の施策を体系化しています。

また各施策に位置づけられる事業を「選択と集中」の視点を持ち掲載しています。

めざす都市像等	施策数	事業数
人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち	14	146
災害に強く安全に暮らせるまち	7	76
快適な都市環境と自然が調和するまち	10	95
魅力と活力にあふれるまち	9	99
市政運営の取り組み	4	35
合　計	44	451

計画の進行管理

●実施状況の把握

毎年度、施策ごとに設けた成果指標の状況を把握するとともに、掲載事業の実施状況を把握し、公表します。

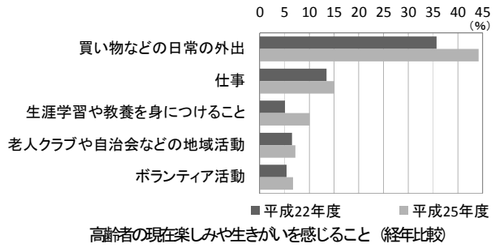
●施策推進の方針

毎年度、施策をすすめる上での課題などを把握するとともに、計画の実施状況をふまえて、翌年度以降、施策をどのようにすすめていくべきか検討し、その方向性を施策推進の方針として示します。また、計画期間終了後には、成果指標の目標値や、掲載事業の計画目標の達成状況を評価・検証するなどにより本計画を総括します。

施策体系

人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち

施策 1　生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
施策 2　適切な医療を受けられる体制を整えます
施策 3　安心して介護を受けられるよう支援します
施策 4　高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
施策 5　障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します
施策 6　地域住民が互いに助けあい、安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめます
施策 7　安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
施策 8　子どもの健やかな育ちと若者の自立を支える環境をつくります
施策 9　虐待やいじめ、不登校から子どもを救います
施策 10　子どもの個性を大切にし、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育みます
施策 11　誰もが意欲を持って働けるよう、就労支援をすすめます
施策 12　生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいづくりを支援します
施策 13　人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
施策 14　男女平等参画を総合的にすすめます



高齢者の現在楽しみや生きがいを感じること（経年比較）

成果指標の例（施策２）
適切な医療が受けられると感じる市民の割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
84.5%	90%	90%以上

成果指標の例（施策８）
自分のことを好きと答える子どもの割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
76.3%	80%	85%

災害に強く安全に暮らせるまち

施策 15　災害に強いまちづくりをすすめます
施策 16　防災・減災対策をすすめるとともに、地域防災力の向上を支援します
施策 17　災害時に市民の安全を守る体制の強化をすすめます
施策 18　犯罪や交通事故のない地域づくりにつとめます
施策 19　衛生的な環境の確保につとめます
施策 20　安全でおいしい水を安定供給します
施策 21　消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

避難所運営訓練の様子

成果指標の例（施策 15）
災害に強いまちづくりができていると思う市民の割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
47.4%	55%	65%

成果指標の例（施策 16）
避難所開設・運営訓練等の学区実施率

現状値（24 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
55%	100%	100%

成果指標の例（施策 18）
犯罪がなく安心して暮らせると思う市民の割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
63.2%	75%	91%

快適な都市環境と自然が調和するまち

施策 22　大気や水質などが良好に保たれた快適な生活環境を確保します
施策 23　身近な自然や農にふれあう環境をつくります
施策 24　公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりをすすめます
施策 25　良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
施策 26　歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
施策 27　バリアフリーのまちづくりをすすめます
施策 28　良質な住まいづくりをすすめます
施策 29　市民・事業者の環境に配慮した活動を促します
施策 30　低炭素社会づくりをすすめます
施策 31　３Ｒを通じた循環型社会づくりをすすめます

成果指標の例（施策 27）
地下鉄における可動式ホーム柵の設置駅数

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
23 駅	45 駅	79 駅以上

成果指標の例（施策 31）
日常生活でごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
82.3%	85%	90%以上

魅力と活力にあふれるまち

施策 32　世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
施策 33　国際的に開かれたまちづくりをすすめます
施策 34　若い世代が学び、遊び、働けるまちをつくります
施策 35　歴史・文化に根ざした魅力を大切にします
施策 36　港・水辺の魅力向上をはかります
施策 37　魅力的な都市景観の形成をすすめます
施策 38　観光・コンベンションの振興と情報発信により交流を促します
施策 39　地域の産業を育成・支援します
施策 40　次世代産業を育成・支援します

水辺のにぎわい

成果指標の例（施策 38）
観光客の満足度

現状値（24 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
80.7%	85%	90%

市政運営の取り組み

施策 41　市民サービスの向上をすすめます
施策 42　市民への情報発信・情報公開をすすめます
施策 43　地域主体のまちづくりをすすめます
施策 44　公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用をすすめます

成果指標の例（施策 43）
地域の住民によるまちづくりが活発に行なわれていると思う市民の割合

現状値（25 年度）	目標値（30 年度）	目標値（40 年度）
30.5%	40%	60%